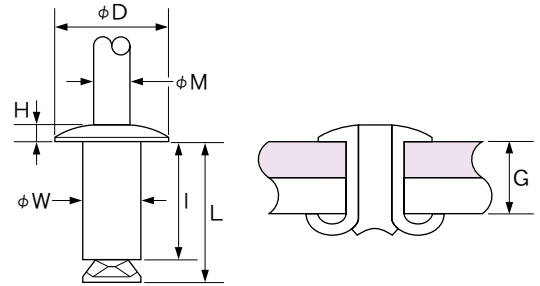


# PL タイプ / 軟質材用 (丸頭・皿頭)

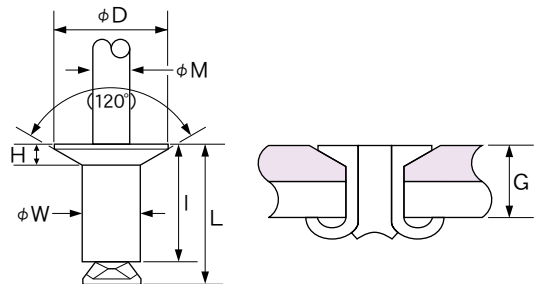


スリーブが4方向に大きく開くことで、ベニヤ板や樹脂、ゴムなどの軟質材をしっかりと保持しながら締結します。

## ■ 基準寸法記号と締結図



(丸頭の場合)



(皿頭の場合)

## ■ 呼称記号

**D AS 53 PL**

- ① フランジ (鋳) 形状コード (D: 丸頭 K: 皿頭)  
 ② 材質コード (AS ※規格表参照)  
 ③ 寸法コード (※規格表参照)  
 ④ リベットタイプ (PL)

## ■ AS 規格表

AS (スリーブ: アルミニウム A5154 / 生地、マンドレル: スチール硬鋼線 / 亜鉛めっき)

スリーブ径 W (mm)	下穴寸法 (mm)	寸法 コード	推奨締結板厚 G (mm)		I (mm)	L <sup>※2</sup> (mm)	D (mm)	H (mm)		M (mm)	強度 <sup>※3</sup> (kN)	
			丸頭	皿頭 <sup>※1</sup>				丸頭	皿頭 <sup>※1</sup>		引張	せん断
3.2	3.4 <sup>+0.1</sup> <sub>0</sub>	43	1.0 ~ 4.5	1.3 ~ 4.5	8.1	10.1	6.4	1.0	1.1	1.85	0.8	0.8
		44	4.5 ~ 6.0	4.5 ~ 6.0	9.7	11.7						
		46	6.0 ~ 9.2	6.0 ~ 9.2	12.9	14.9						
		48	9.2 ~ 12.4	9.2 ~ 12.4	16.8	18.8						
4.0	4.2 <sup>+0.1</sup> <sub>0</sub>	52	1.0 ~ 2.6	1.6 ~ 2.6	7.3	9.7	8.0	1.2	1.4	2.25	1.3	1.3
		53	1.2 ~ 4.5	2.0 ~ 4.5	8.9	11.3						
		54	4.5 ~ 6.1	4.5 ~ 6.1	10.5	12.9						
		56	6.1 ~ 9.3	6.1 ~ 9.3	13.7	16.1						
		58	9.3 ~ 12.5	9.3 ~ 12.5	16.9	19.3						
4.8	5.0 <sup>+0.1</sup> <sub>0</sub>	63	1.5 ~ 4.6	1.8 ~ 4.6	9.7	12.4	9.5	1.5	1.6	2.65	2.0	2.1
		64	4.6 ~ 6.1	4.6 ~ 6.1	11.3	14.0						
		66	6.1 ~ 9.2	6.1 ~ 9.2	14.5	17.2						
		68	9.2 ~ 12.3	9.2 ~ 12.3	17.7	20.4						
		610	12.3 ~ 15.5	12.3 ~ 15.5	20.9	23.6						

※ 1. 皿頭は、受注生産となります。 ※ 2. L寸法は参考値です。 ※ 3. 強度は当社規定の試験結果によるものです。

備考) (1) マンドレルのめっきは亜鉛めっきとなります (本タイプの性能上、亜鉛めっき3個クロメート処理は推奨しません)。

(2) 規格寸法は性能向上のため、予告なく変更する場合があります。

(3) 締結板厚が、推奨板厚の範囲を超える場合や、下限値付近となる場合は当社にお問い合わせください。

## 警告

人に向けてかきめ作業を行わないでください。

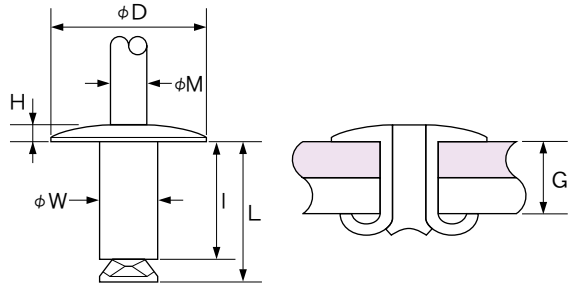
(かきめ作業時に、破断したマンドレル頭部が飛び出す恐れがあります。)

# PL タイプ / 軟質材用 (ラージフランジ※<sup>1</sup>)



4方向に大きく開くスリーブとラージフランジで、ワークを両面からしっかりと保持して締結を行います。

## ■ 基準寸法記号と締結図



(ラージフランジの場合)

## ■ 呼称記号

**LF AS 53 PL**

①      ②      ③      ④

- ① フランジ (鋳) 形状コード (LF: ラージフランジ)  
 ② 材質コード (AS ※規格表参照)  
 ③ 寸法コード (※規格表参照)  
 ④ リベットタイプ (PL)

## ■ AS 規格表

AS (スリーブ: アルミニウム A5154 / 生地、マンドレル: スチール硬鋼線 / 亜鉛めっき)

スリーブ径 W (mm)	下穴寸法 (mm)	寸法 コード	推奨締結板厚 G (mm)	l (mm)	L <sup>※2</sup> (mm)	D (mm)	H (mm)	M (mm)	強度 <sup>※3</sup> (kN)	
							ラージフランジ		引張	せん断
3.2	3.4 <sup>+0.1</sup> <sub>0</sub>	43	1.0 ~ 4.5	8.1	10.1	8.0 9.5	1.0 1.2	1.85	0.8	0.8
		44	4.5 ~ 6.0	9.7	11.7					
		46	6.0 ~ 9.2	12.9	14.9					
		48	9.2 ~ 12.4	16.8	18.8					
4.0	4.2 <sup>+0.1</sup> <sub>0</sub>	52	1.0 ~ 2.6	7.3	9.7	10.0 12.0	1.3 1.5	2.25	1.3	1.3
		53	1.2 ~ 4.5	8.9	11.3					
		54	4.5 ~ 6.1	10.5	12.9					
		56	6.1 ~ 9.3	13.7	16.1					
		58	9.3 ~ 12.5	16.9	19.3					
4.8	5.0 <sup>+0.1</sup> <sub>0</sub>	63	1.5 ~ 4.6	9.7	12.4	12.0 13.0 15.5	1.7 1.8 2.0	2.65	2.0	2.1
		64	4.6 ~ 6.1	11.3	14.0					
		66	6.1 ~ 9.2	14.5	17.2					
		68	9.2 ~ 12.3	17.7	20.4					
		610	12.3 ~ 15.5	20.9	23.6					

※ 1. ラージフランジは、受注生産となります。 ※ 2. L寸法は参考値です。 ※ 3. 強度は当社規定の試験結果によるものです。

備考) (1) マンドレルのめっきは亜鉛めっきとなります (本タイプの性能上、亜鉛めっき3個クロメート処理は推奨しません)。

(2) 規格寸法は性能向上のため、予告なく変更する場合があります。

(3) 締結板厚が、推奨板厚の範囲を超える場合や、下限値付近となる場合は当社にお問い合わせください。

**警告**

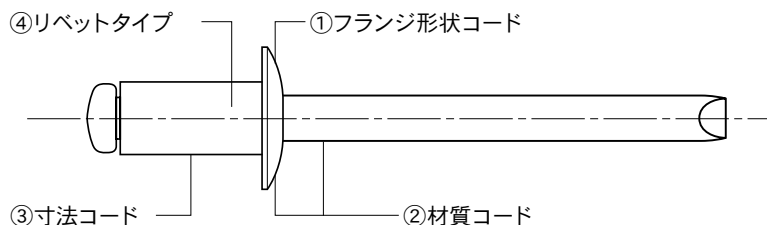
人に向けてかきめ作業を行わないでください。

(かきめ作業時に、破断したマンドレル頭部が飛び出す恐れがあります。)

## ■ 呼称記号の見方

**D AS 53 □□**

①      ②      ③      ④



- ① フランジ (鋳) 形状コード : 下記 (表1) 参照 (D: 丸頭 K: 皿頭 LF: ラージフランジ)
- ② 材質コード : 下記 (表2) 参照 (\* AS の場合: スリーブ材質がアルミニウム、マンドレル材質がスチールを表す)
- ③ 寸法コード : 各規格表ページ参照
- ④ リベットタイプ : 下記 (表3) 参照 (FX/CP/GT/PL/PLX/HL) (\*スタンダードタイプの場合は表示無し)

## ■ フランジ (鋳) 形状コード (表1)

コード	タイプ	形状	特長
D	丸頭		標準的なフランジ形状です。
K	皿頭		ワーク表面を平面状にする場合に使用します。 (ワークの皿もみ加工が別途必要となります)
LF	ラージフランジ		径の大きなフランジタイプです。 軟質材ワークの締結等にも適しています。

## ■ 材質コード (表2)

コード	スリーブ材質	マンドレル材質
AS	アルミニウム A5154 / A5052	スチール 硬鋼線
AA	アルミニウム A5052	アルミニウム 高張力線
SS	スチール SWCH	スチール 硬鋼線
CS	オーステナイト系 ステンレス	スチール 硬鋼線
CC	オーステナイト系 ステンレス	ステンレス 高張力線

## ■ リベットタイプ (表3)

タイプ	特長
スタンダード	様々な業界・用途で採用されている 最も標準的なブラインドリベットです。
FX	1サイズで広範囲の板厚に対応し、 締結作業性を向上します。
GT	大きなカール径を持ち、ワークを強く引き付けて 締結することが可能です。
CP	樹脂キャップを被せることにより、 防水性を持たせたリベットです。
PL	スリーブが4方向に大きく開き、 軟質材をしっかりと保持して締結します。
PLX	マンドレル頭部を固定する為、 締結後の異音防止や簡易防水効果を実現。
HL	締結後のかしめ高さを低くすることで、 省スペース化を実現します。